

# 令和7年（2025）11月 入域観光客数概況（速報）

89万4,500人  
対前年（R6）同月比 +8万3,300人、+10.3%  
～11月としては過去最高～

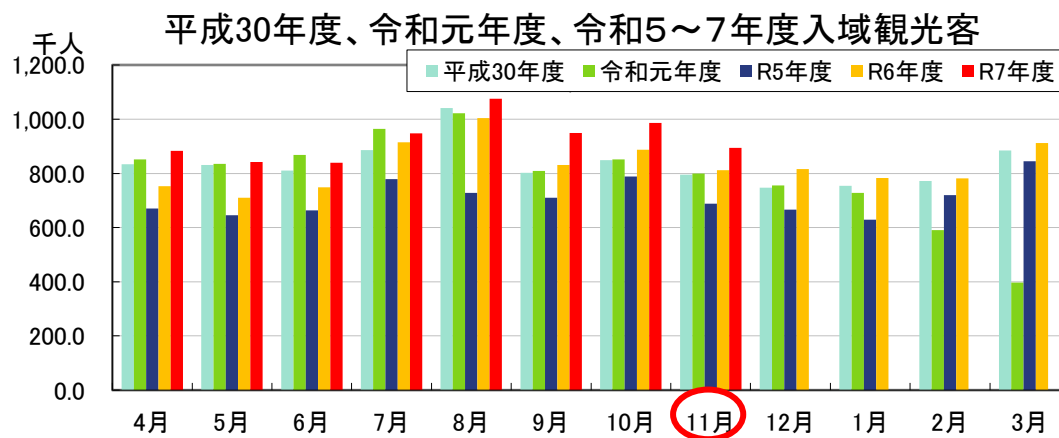
## 入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	662,800人	636,800人	+26,000人	+4.1%	74.1%	600,100人
空路	661,000人	632,400人	+28,600人	+4.5%	73.9%	596,100人
海路	1,800人	4,400人	△2,600人	△59.1%	0.2%	4,000人
外国客	231,700人	174,400人	+57,300人	+32.9%	25.9%	199,100人
空路	157,300人	118,000人	+39,300人	+33.3%	17.6%	97,900人
海路	74,400人	56,400人	+18,000人	+31.9%	8.3%	101,200人
合計	894,500人	811,200人	+83,300人	+10.3%	100.0%	799,200人

※外国客には、海路における乗務員等22,500人を含む。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和8年2月の公表を予定しています。



## 国内客 入域状況

11月は、修学旅行の最盛期であることや国内・県内発着クルーズの寄港があったことにより、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

12月は、引き続き修学旅行シーズンであること、年末年始の需要を見込んだ航空会社による臨時便等があることのほか、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
東京方面	321,400人	310,000人	+11,400人	+3.7%	48.5%	291,900人
関西方面	131,500人	131,500人	+0人	+0.0%	19.8%	116,900人
福岡方面	89,000人	81,300人	+7,700人	+9.5%	13.4%	78,400人
名古屋	57,700人	55,100人	+2,600人	+4.7%	8.7%	50,600人
その他	63,200人	58,900人	+4,300人	+7.3%	9.5%	62,300人
合計	662,800人	636,800人	+26,000人	+4.1%	100.0%	600,100人

参考：国内線経由入域外国人数 約36,000人（航空会社ヒアリングにより推計値を算出）

（注）推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。